
BREAK ~ 地球浄化作戦 ~

阿咩

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

BREAK〜地球浄化作戦〜

【Nコード】

N0939S

【作者名】

阿吽

【あらすじ】

地球の森林伐採、温暖化、オゾン層破壊……これらのすべては、地球の破壊活動である。

これらの活動をしているモノは、『人間』である。

『地球を守ろうとするモノ』対『地球を破壊する無知なモノ』の闘いが今、始まる…

#01『作戦実行』

「地球人」それは地球を滅亡へと導く悪魔…

その時、地球を守るべく立ち上がる4人の正義がいた…

―2011年12月23日―

日本の某高等学校。

いつもの如く生徒達は、好き勝手な行動をしていた。

そして先生は、授業を「誰も聞いていないから」という理由で放棄した。

先生「みんなー。これからは自習にするので…」

生徒A「さっさと出てけー」

生徒B「邪魔だー」

先生（なんて奴らだ…いなくなればいいのに…）

―3時間後―

生徒達が遊んでいる時に突然、窓ガラスが割れた。

???「突撃!!」

その時2人の人間が割れた窓から入ってきた。

ザッ!!

???「動くな!!」

その2人の人間は、いかにも強盗のような格好をしていた。
教室の空気が凍りついた。

#02『侵入』

2人の人間は、手に持っていた銃を生徒に向けた。
生徒「誰だ!!」

???「地球を破壊から守る者だ!!」

―その頃、職員室では―

???「変な動きを少しでもすれば命は、ないぞ」

1人の黒服の人間が職員室を混乱の渦に巻き込んだ。

先生「お前……まさか……」

???「やつと気づいたか」

と言うと黒服は頭に巻いていた布をほどいた。

その人間は男だった。

背は170cmくらい、髪は短く、紫色。肌は白く、目はつり目で小さい。首には、大きな火傷の跡が痛々しく残っていた。

???「俺の名は、クリア……久しぶりだな…兄貴……」

#03『兄弟』

先生「お前だったのか…しかし名前は、啓太のはず…」

クリア「ああ、たしかに啓太は俺の名だ…昔のな」

と言うとクリアは、左腕の袖を捲った。

先生達は、クリアの左腕に釘付けになった。

その腕は、縫い跡だらけだった。

先生「お、お前…何があつたんだ!？」

クリア「兄貴が知る必要はない…」

そして、クリアは上に着ていたローブを脱いだ。

クリア「あんたらには、ここで死んでもらう…」

クリアの体にはダイナマイトが数えきれないほど巻かれていた。

クリア「じゃあな…」

先生「ま、待て!…」

その言葉は虚しく、クリアはライターでダイナマイトの導火線に火をつけた。

ドオオオオン!!!!

職員室が吹っ飛んだ。

#04 『痛み』

先生達「うわああああ!!」

クリアは爆風の中で笑っていた。普通は、真っ先に死んでいるはずなのに…

クリア「ハハハ…」

―その頃、教室では―

2人の黒服は、静かに生徒達に近づいて行った。

その瞬間、生徒の1人が、叫びながら右側にいた黒服に突っ込んでいった。

生徒「うおおおお!!」

黒服は、驚くことも無く銃口をその生徒に向けた。

しかし生徒は、向かって行った。

黒服（右）「愚かな…」

黒服の銃を持つ腕に力がこもった。

黒服（右）「地球の痛みを知れ……」

バンッ!!!!

生徒の左胸を銃弾が貫いた。

#05 『友の死』

黒服の放った銃弾は生徒の心臓を貫いた。
びちゃっ！

辺りに赤い液体が飛び散った。

生徒の血だ…

他の生徒達は血に注意をひかれていて、少しの間気付かなかった。

生徒「お、おい！！」

1人の生徒が撃たれた生徒を抱き上げた。

生徒「だ、大丈夫だから！！」

しかし、みんな分かっていた…もう、死んでいることを……

黒服（右）「何故、お前は泣いている？そいつは、お前の家族でもないのに。他の奴らも……」

生徒「黙れ！！！！」

撃たれた生徒を抱き上げていた生徒が、叫んだ。

生徒「こいつは、俺の友達だ！！」

黒服（右）「だからどうした？泣いてどうなる？泣いたって時間の無駄だ……」

生徒「黙れって言うてんだろ！！」

黒服（左）「こいつらは、始末しろって命令出たよね？」

黒服（右）「ああ、お前がやれ」

生徒達は、ジリジリと後ずさった。

黒服（左）「じゃあ、殺しのマジックショーの始まりだ！！」

と言うと黒服（左）は、ローブを脱ぎ捨てた。

#06『マジック』

黒服（左）も男だった。

身長はあまり高くなく160cmくらいしかないようだ。

髪は黄色で長く、肩まであり、前髪はセンター分けにしている。

目は大きく、赤色。高い鼻、小さい口。まるで海外の人形のような服装は、よくあるタキシードで蝶ネクタイまでしている。

黒服（右）「おい！まだそんな服を着てんのか？メツ」

メツと呼ばれた男は、キレ気味に喋った。

メツ「ゼツ、この服はなあ…マジシャンの正装なんだよ！！！」

どうやら黒服（右）はゼツと呼ばれているようだ。

ゼツ「お前の戦い方は、時間がかかる。2人でさっさと、終わらせるぞ」

メツ「はいはい…じゃあコンビネーションBでいいよな！？」

ゼツ「ああ、いくぞ」

その言葉と同時に、メツは両手を横に広げた。

メツ「いくぜえ！！」

と言うと、教室の床と壁が歪みだした。

メツが、胸の前で両手を合わせて叫んだ！

メツ「クロ・ファースト！！」

なんと、床や壁がランプになったのだ！

生徒達がメツ達の方を見ると、そこにはメツしか居なかった。

ゼツ「終わりだ…」

どこからか声が聞こえてきた。

#07『ゼツ&メツ』

生徒達「どこから声が!？」

ゼツ「下だ!」

いきなりゼツが、トランプの床を突き破って出てきた。

ゼツは、上半身まで出てきて、左手に右手を重ね、生徒達の方に向けた。

ゼツ「闇の吸口!!」
ブラック・ホール

と言った瞬間、ゼツの掌に黒い渦が発生した。

黒い渦は、すぐに大きくなり生徒達を引き寄せ始めた。

ズオオオオオ...

生徒「うわっ!!」

生徒達がゼツの1メートル位手前に来ると、今度はメツが両手をトランプの床に付けた。

メツ「ハー・ケージ!!!!!!」

するとトランプが半円状になり、生徒達を覆った。

#08『闇の力』

ゼツ「終わりだな……」

と言うと、ゼツは両手を拝む感じに組んだ。

ゼツ「闇の雲……」
ヘル・クラウド

その言葉と同時に、両手を上に上げた。

すると、生徒達の上に大きな黒い渦が発生した。

ゼツ「闇の雨……」
ダーク・レイン

バチバチ……

大きな雷鳴が鳴り響いた。

ゴオオオオ……

強風が巻き起こった。

そして黒い雨が、槍のように生徒達に向かって降り注いだ。

ドドド……

黒い雨が降り注いだ床は、大きな穴があいていた。

メツ「終わったな」

と言うと、メツは両手を胸の前で合わせた。

パンッ！！

すると、トランプの床や壁は元に戻っていた。

ピリリリ……

ゼツは、ポケットから携帯を取り出した。

ゼツ「もしもし」

???「仕事は、終わったのか？」

ゼツ「はい、学校の生徒、教師……全て始末しました。教師の方は、

クリアが行って、さっきダイナマイトで終わらせましたようです。爆発

音が聞こえたので」

???「そうか……実にお前達は、素晴らしい。ゼツの闇、メツの

マジック、クリアの不死身の肉体……」

ゼツ「次は、どうすればいいんですか？」

???「そうだな……次は3人で行動してもらおう。二酸化炭素の排出が多い国……アメリカだ」
ゼツ「了解……リーダー」

#09 『恐怖の顔』

ゼツがリーダー？との通話を切ると、クリアに連絡をした。

ーその頃、クリアはー

ピリリリリ……

クリア「もしもしー」

ゼツ「用件だけを言う。次のターゲットは、アメリカだ。」

クリア「了解ー」

と言うとクリアは、通話を切った。

クリア「その前に服が欲しいな……」

ーゼツ達はー

ゼツ「クリアの奴は、きつと服が欲しい筈だから……」

メツ「ああ、分かった……分かった……」

と言うとメツは、指をパチンツ！と鳴らした。

メツが指を鳴らした瞬間、黒い上下の服とゼツとメツが着ているフード付きローブが出てきた。

メツ「これでいいだろ？」

ゼツ「ああ」

メツ「相変わらず無愛想だな。コンビを組んでから5ヶ月経つんだぞ？いいかげんフードくらい取れよ！！仲間にも顔を見せないってどういうことだよ！！！！」

ゼツのフードの中から見えるのは、緑色に光る目とフードからはみ出ている白い髪だけだった。

ゼツ「俺の顔を見たら、その後は恐ろしくて、俺とコンビも組めないだろうから……リーダーも俺の顔は、見たことはない」
メツ「そりゃ気になるね」
そこにクリアがやって来た。
クリア「おーい」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0939s/>

BREAK ~ 地球浄化作戦 ~

2011年5月12日18時19分発行